

オペレーティングシステム特論
第2回資料

理工学研究科知能情報工学コース

花田英輔

1

毎回の内容(予定)

1. 本講義の内容説明(10/7)	8. ファイルと入出力[教科書第4章] (12/2)
2. UNIX の概要と基本操作 (10/21)	9. プロセス(1)[教科書第5章](12/ 9)
3. プログラムの作成・実行・デ バッグ(10/28)	10. プロセス(2)[教科書第6章] (12/16)
4. Cの復習[教科書第1章] (11/4)	11. ファイル入出力[教科書第7章] (12/23)
5. シェル環境[教科書第0章] (11/11)	12. 端末属性[教科書第8章](1/13)
6. コマンド作成[教科書第2章] (11/18)	13. プロセス(3)[教科書第9章](1/20)
7. システムコール[教科書第3 章](11/25)	14. シグナル処理とパイプ[教科書 第10章、第11章](1/27)
	15. ソケット[教科書第12章](2/3)

2

UNIXの基本操作
UNIXコマンド・ファイル構造・シェル
(「UNIXの基礎参照」のこと)

3

課題作成用サーバについて

- 情報基盤センターのシステム更新に伴って、マシン構成が変更されたため、資料と異なるマシンにアクセスすること
- アクセス先: stuext.ai.is.saga-u.ac.jp
(IPアドレス: 133.49.31.35)
- IDは学籍番号、パスワードは
https://lms.is.saga-u.ac.jp/inf_net/getpass2025_ms.phpで取得可能
- 学外からのアクセスはVPNを用いれば可能
- 講義ホームページを参照のこと

4

本日の課題(1)

- 「mkdir」を使って、ホームディレクトリ下に「os」という名前のディレクトリを作成せよ
- 「ls」を使って、ホームディレクトリの「一つ上」でディレクトリ一覧を表示せよ。ここには、各ユーザーのホームディレクトリが並んでいるのが分かる。「リダイレクション」を使って、この一覧をosディレクトリ中に「userlist1.txt」という名前のファイルとして保存せよ
- 2と同じディレクトリについて、「ls」と「grep」をパイプ接続して使うことで、最初の2桁が今年度入学生を意味するディレクトリのみを取り出した「userlist2.txt」を作成せよ

5

本日の課題(2)

- 「w」を使って、現在ログイン中のユーザー一覧を取得し、「userlist3.txt」に保存せよ
- 「ps -Af」を使って、現在動いているプロセスの一覧を取得し、「pslist.txt」に保存せよ
- 「df」を使って、現在のディスク使用状況を取得し、「dflist.txt」に保存せよ
- 「vi」を使って、前記の3つのユーザー一覧(userlist1,2,3.txt)を編集し、ユーザー一覧として不要な行や語句の削除とタイトル行の挿入を行え。タイトルは英語で、例えば「Users List」のようにする事

6

本日の課題(3)

- 現在ログイン中の知能情報システムコース(学籍番号の3-5桁目が「726」である)と知能情報工学コース(AI)(学籍番号の3-5桁目が「742」である)の学生の一覧を表示するスクリプト「isusers」を作成せよ。可能であれば、ユーザIDとログイン時刻のみの一覧表とせよ
- 「vi」の説明を参考に、各種操作を試せ
- 「man」を使って、配布資料に載っているUNIXの主要コマンドの使い方を調べて、使えそうなものを試せ

7

課題レポート作成上の注意

- 課題に「試せ」とある場合は
 - 何を試したか
 - その結果(出力がある場合は出力)をレポートに記すこと
- 課題で作成したファイルは講義全体の最後に提出してもらうので、保持しておくこと

8